

平成29年度 生活創造学科「介護福祉士コース」教育システム総覧

教育目標

介護福祉士コースでは、建学の精神と教育理念に基づき、豊かな人間性と専門性を備えた介護福祉士として社会に貢献できる者の養成を教育目標とする。具体的には介護福祉士コースが定める学修成果の目標達成を目指す。

学修成果の到達目標

ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

建学の精神と介護福祉士コースの教育目標を具現化するために、次の項目を学修成果の到達目標とする。

介護福祉士コースの教育目標と学修成果の到達目標に基づいて開講されている教育課程の科目を履修し、学則に規定する成績評価の基準で卒業に必要な単位を修得した者。これにより「介護福祉」の分野で社会に貢献できる資質を身につけた者に、短期大学士(介護福祉学)の学位を授与する。また、所定の単位を修得した者に介護福祉士の受験資格を授与する。
具体的には、次の6項目について、社会に適応し地域社会に貢献できるレベルに達したと認められる者に学位を授与する。

1.「尽心」：他者の人格を尊重し、その心情に共感的に接することができる豊かな人間性を身につける。具体的には、次の特性の涵養を目指す。

①誠実性・真摯性

介護福祉士として、誠意を持って真摯に人と関わり、尊厳を守る介護を行うことができる。

②多様性・協働性

介護福祉士として、多様な価値観を受け入れ、協力して、より良い介護を行うことができる。

①誠実性・真摯性

介護福祉士として、誠意を持って真摯に人と接することができる。

②多様性・協働性

介護福祉士として、多様な価値観を受け入れ、協力して介護を行うことができる。

2.「創造」：介護福祉士に必要な専門的な知識・技術を修得する。具体的には、次の特性の涵養を目指す。

③知識・技能

介護福祉士として、求められる知識や技能を修得し、介護の質の向上に努めることができる。

④思考力・判断力・表現力・創造力

介護福祉士として、自ら考え、判断し、介護を必要とする人のニーズをくみ取り、自立を支援する介護を創り出すことができる。

③知識・技能

介護福祉士として、求められる知識や技能を修得することができる。

④思考力・判断力・表現力・創造力

介護福祉士として、自ら考え、判断し、介護を必要とする人のニーズをくみ取り、自立を支援する介護につなげることができる。

3.「実践」：介護の専門職として、チームでの役割を担い、地域社会に貢献できる実践力を身につける。具体的には、次の特性の涵養を目指す。

⑤主体性・自立性・実行力

介護福祉士として、介護の業務に主体的に関わり、自ら進んで行動し、課題解決に取り組むことができる。

⑥就業力・貢献力

介護福祉士として、職に就く力を備え、地域社会に積極的に貢献することができる。

⑤主体性・自立性・実行力

介護福祉士として、介護の業務に主体的に関わり、自立して行動することができる。

⑥就業力・貢献力

介護福祉士として、職に就く力を備え、地域社会に関わることができる。

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

アドミッション・ポリシー(入学者受け入れの方針)

介護福祉士コースの教育目標と学修成果の到達目標および学位授与の方針を達成するために、次の領域を教育課程編成の方針として教育を実施する。

1.「人間と社会」：介護の基礎となる人間の尊厳や社会・制度の理解を涵養する科目で構成している。

2.「こころとからだのしくみ」：介護実践の根拠となる心と体のしくみや、発達と老化、認知症、障害の理解に関する科目で構成している。

3.「介護」：あらゆる介護場面に汎用できる基本的な介護の知識・介護実践の理論、介護過程の展開の方法を養う科目で構成している。

4.「介護技術・医療的ケア」：介護実践に必要な生活支援技術、コミュニケーション技術、医療的ケア等の実技科目で構成している。

5.「学外実習等」：介護現場での実践力強化と、介護を必要とする人との出会いによる介護の意義の理解、資格取得に求められる能力の強化を図る科目で構成している。

授業運営と成績評価は、学則のおよび各授業科目のシラバスに従って実施する。

各科目と学修成果との関連および系統的な科目構成は、カリキュラム・マップ(リスト型、ツリー型)に示す。

介護福祉士コースの教育目標と学修成果の到達目標および学位授与の方針を達成するために、次の項目を入学者受け入れの方針とする。

1. 他者を思い遣る気持ちを持ち、誠実に物事に取り組むことができる者。

2. 基礎学力と素養があり、介護福祉士の資格取得に真摯に取り組む姿勢を持ち続けることができる者。

3. 福祉活動などの社会貢献活動に意欲を持つ者。

その他の事項については、全学の入学者受け入れの方針に示す。

